

# 神戸大学

## Kobe University China Office

100190  
北京市海淀区中関村北四環西路 33 号 中国科学院文献情報センター 616 室  
<http://www.kobe-u.ac.jp/ch/>  
TEL : +86 (0)10 6253 8332  
FAX: +86 (0)10 6253 8664  
E-mail: [opie-chinaoffice@office.kobe-u.ac.jp](mailto:opie-chinaoffice@office.kobe-u.ac.jp)

### 海外国際業務研修

2010年7月4日～28日、国際部国際企画課の職員が北京での国際業務研修に参加しました。午前からは中国人民大学でのサマースクールに参加し、午後からは北京外国語大学でのインターンシップを通し、中国の大学における国際業務を経験しました。その他、北京にある本学との提携大学を訪問し、課題や要望等について意見交換を行いました。

さらに、日本の各大学の事務所を訪問し、中国での活動状況や今後の展望等を調査したほか、日本学術振興会北京研究連絡センター、日本文化センター、日本経済貿易センターなどを訪れ、各機関の関係者から中国の教育・就職・経済事情について説明を受けました。

研修で得られた成果については、神戸大学国際交流推進本部へ報告されました。研修中に提携大学から寄せられた意見の中には、具体的な部局や分野をあげるものが多数あり、今後は、研修で得た情報を、様々な機会やツールを活用し、本学の構成員一人ひとりが共有できる情報へと発展させていくことが期待されます。



### 北京科技大学日本大学デー

2010年10月15日、日本の各大学との交流を推進し、研究者間での共同研究、及び大学間での学生交流を発展させることを目的とした「北京科技大学日本大学デー」が開催されました。本学のほか、北海道大学、東京大学、東京電機大学、岡山理科大学、九州大学、名古屋大学等12校が参加しました。午前の開幕式では、北京科技大学徐学長から北京科技大学の概要紹介があり、冶金、材料科学及び科学史等の分野でトップレベルの研究水準を保っていることについて説明がありました。開幕式終了後、北京科技大学校史館及び新金属材料国家重点実験室の見学が行われました。

午後からは各大学による留学説明会が開催され、約400名の学生が来場し、そのうち約80名の学生が本学のブースを訪れました。参加者からは、交換留学や中国公費派遣留学生の受入れ、大学院への入学等に関する質問が数多く寄せられました。北京科技

大学は中国教育部直属の重点大学でもあり、今回の留学説明会は、本学の情報を発信するとともにプレゼンスを高める有意義な機会となりました。

### アジア大学学長フォーラム

2010年11月12日～14日、「アジア高等教育と地域経済社会発展」をテーマとするアジア大学学長フォーラム（主催：中国教育部・広州市政府）が、中国広州市の東方賓館にて開催されました。アジアの20の国・地域（香港、マカオ）から30名の学長、及び中国の50名の学長が一堂に会しました。本学からは中村千春国際交流担当理事と海内保男国際部長が出席しました。

本フォーラムはアジア競技大会と同時期に行われ、各大学の学長は12日に举行されたアジア競技大会開幕式に招待されました。

13日午後には举行されたフォーラム開幕式では、広州市長、広東省長、UNESCO事務局長、劉延東國務委員による挨拶に続き、教育部の袁貴仁部長による基調講演が行われました。

フォーラムでは、欧州のボローニャ・プロセスを手本としたアジア高等教育一体化の可能性について検討しました。グローバル化の中で、激しい国際競争に対応するため、アジアの各大学が互いに相互間の交流と協力を促進し、大学の国際競争力を高めながら、地域社会のみならず、アジア経済社会の共同的発展に資することができるかについて議論が展開されました。

日本、インド、シンガポール、韓国、フィリピン及び中国からの計11名の学長が、アジア高等教育の一体化や地域経済の構造改革、大学の国際化、産学連携、学生短期留学プログラムの開発等について講演しました。講演終了後、大学協定調印式が行われ、23の大学が協定を結びました。

本学は、フォーラムの合間に、中国農業大学、蘇州大学、北京師範大学及び大連理工大学の学長と個別会談を実施し、共同研究や学生交流等を促進し相互の連携を強化することについて、意見交換を行いました。



## 合同大学留学説明会 —北京・西安・上海・長春

本学は、日本学術振興会北京研究連絡センター主催の留学説明会のうち、北京地区（2010年5月27日 中国人民大学）・西安地区（5月28日 西安交通大学）・上海地区（10月25日 上海交通大学、26日 復旦大学）・長春地区（11月3日 東北師範大学、4日 吉林大学、5日 中国赴日本国留学生予備学校）の7つの留学説明会においてブースを出しました。

留学説明会を通し、北京・上海の学生は欧米志向が強く、留学説明会をきっかけに日本留学もしくは留学先を決める学生の割合は低く、指導教官の影響を受けて日本へ留学する傾向が強いことがわかりました。その一例として、中国人民大学商学院では本学を卒業した教員が3名、上海交通大学にも数名在籍していることもあり、両校から数多くの学生が本学のブースに立ち寄りました。

長春は日本語教育が盛んな地域であり、特に東北師範大学での説明会には、日本語学・教育学を希望する学生が多数参加しました。中国赴日本国留学生予備学校での説明会には、日本政府奨学金がすでに決定している学生のほか、私費での留学を希望する学生も多数来場しており、関心の高さをうかがわせていました。

昨年の説明会では、知名度の高い大学で、かつ研究したい専門分野が世界トップレベルである大学への留学を希望する学生が多数を占めていたのに対し、今年の説明会では、自分の能力と希望する研究分野のレベルを照らし合わせ、留学先の大学を熱心に探す学生が数多く見られました。



## 神戸大学北京同窓会

厳しかった寒さも和らぎ春の足音が聞こえてきた2011年3月1日、工人体育場近くのレストラン「正院大宅門」にて神戸大学北京同窓会が開催され、北京に出張中の佐々木衛人文学研究科教授と国際部国際企画課の職員が参加しました。川崎会長をはじめとする中国の第一線で活躍しておられる本学の日本人卒業生、及びかつて本学に留学し現在は中国で活躍しておられる中国人卒業生計13名が一堂に会しました。本学と沢の鶴との共同開発で作られた清酒「茜色」で乾杯した後、年代や出身学部を越えた交流が行われました。

現在、中国における神戸大学同窓会は、北京・上海・大連・広州の4か所にあり、定期的に活動を行っています。今後、本学が中国での活動を円滑に行って

いくため、さらに、日中交流ネットワークを発展させていくためには、中国の各同窓会からの協力が必要不可欠であることは間違いありません。



## 中国事務所活動報告会

国際交流推進本部（本部長：中村千春国際交流担当理事）は、2011年3月15日に、本学中国事務所の李小穎所員を招いて、中国事務所の活動報告会を開催しました。

李所員による報告内容は、「中国各地区で参加した留学説明会」、「広州で開催されたアジア大学学長フォーラム」、「中国公費派遣留学制度による留学生の受入れ」、「提携校への訪問」及び「中国人学生への留学相談」等、2010年度に中国事務所で携わった活動について行われました。

本報告会には、2011年4月1日から日本学術振興会北京研究連絡センター長に就任される佐々木衛人文学研究科教授（神戸大学中国事務所副所長）も参加し、就任の挨拶と抱負を述べられました。



## ワークショップ・大学説明会

上海交通大学の協力と日本学術振興会北京研究連絡センターの後援を得て、2011年3月21日に上海交通大学において、「SCMの理論発展と実践の日中比較」をテーマに学術ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、日中両国間における価値ネットワーク及び物流ネットワーク等の理論・実践・発展戦略の違いについて議論が行われました。学生を含め約45名が参加し、参加者から各講演者に対し多数の質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

翌日には、同会場で神戸大学説明会を開催し、日本の留学制度、日本での生活、本学の紹介及び留学生の受入れ体制等についての全体説明を行った後、参加者からの個別の質問に対して本学職員が対応しました。参加した学生からは、日本への留学に興味を持っているが情報が不足しているため、今回の説明会を通し、日本での留學生活を具体的に思い描くことができたこと、さらに、神戸大学の魅力を認識できたことについての意見が寄せられました。